

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の調査及び指定・登録について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	未指定文化財の調査・把握を進め、その成果等から、京都市の歴史・文化等を理解するうえで重要なものを、市文化財として指定・登録し、保存活用に努める。 平成21年度より「京都岡崎の文化的景観」選定事業を進めるとともに【6章】、27年度より「北山杉の林業景観」及び「市域の文化的景観」の調査検討事業に着手している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成28年度は文化財の新指定6件、追加指定2件。 ・平成27年10月7日付けで「京都岡崎の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定された。 ・「京都岡崎の文化的景観」普及啓発事業／オカシル連続講座開催(28年度は親子向け3回、大人向け2回)、小学生向けパンフレット(岡崎公園編)刊行(2千部) ・「北山杉の文化的景観」調査検討／研究会開催(3回)、住民向け調査成果中間発表会開催(1回) ・「市域の文化的景観」／研究会開催(4回)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「京都岡崎の文化的景観」について一層の普及啓発を図るとともに、整備方針について検討する。また、「北山杉の林業景観」・「市域の文化的景観」の調査を引き続き進める。		
状況を示す写真や資料等			
平成28年度京都市指定文化財(建造物)			
			
櫻谷文庫(和館, 洋館, 画室)		堀川第一橋	
京都岡崎の文化的景観普及啓発事業			
			
オカシル連続講座重要文化的景観選定記念講演会「景勝ヒンターランド編」 (平成27年10月25日／平安神宮、岡崎まちあるき)			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度
文化財の修理, 防災防犯対策, 周辺環境の整備		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・本市所有又は管理の指定・登録文化財は府の協力を得ながら、本市の文化財保護技師が行う。
- ・京都市指定・登録文化財は修理等の指導・助言を行うとともに、修理等の費用の一部に補助を行う。
- ・伝統的建造物群保存地区内の建造物及び環境物件について、修理・修景等の費用の一部に補助を行う。
- ・京都市域内の国・重要文化財への防災設備の設置は、国庫補助事業として国や府と連携しながら進める。

また、市指定文化財については、防災設備設置への助成制度により防災事業を進める。

- ・新景観政策の推進や歴史的風致形成建造物や景観重要建造物の指定を推進することにより、文化財の周辺環境の保全を進めていく。

【6章】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・京都市指定登録文化財(建造物)の修理事業として、二尊院など、平成28年度中に17件の修理事業を実施。【再掲】
- ・伝統的建造物群保存地区内における修理・修景助成: 14件【再掲】
- ・夏の文化財防火運動(7月12日から18日まで)及び文化財防火運動(1月23日から29日まで)期間中に、文化財関係社寺等において85件の訓練を行うとともに、文化財市民レスキュー体制の育成指導を201回行った。
- ・社寺等での災害発生時に初期消火や応急手当等を迅速に行う「文化財防災マイスター」を106人養成した。
- ・仁和寺において、市民を対象に文化財に対する防火防災意識の普及啓発を図る「文化財防火市民講座」を開催、86名の参加があった。
- ・清水寺において、小中学生の生徒たちを対象に、文化財が災害からどのように守られているかなどを学ぶ「文化財防火サマースクール」を開催、211名の参加があった。
- ・周辺環境の整備については、歴史的風致形成建造物新規指定7件、景観重要建造物新規指定9件を行った。【再掲】

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を保全するためには、それ自身の保存のみでなく、周辺環境の保全・整備が不可欠であるため、景観保全施策・まちづくりに関する施策・文化財保護施策・防災施策等、様々な施策を協同して進められるよう、関連部署の連携を図っていくことが必要。

状況を示す写真や資料等

文化財の修理等(市指定文化財の修理)



市指定文化財・二尊院 修理前



市指定文化財・二尊院 修理後

伝統的建造物群保存地区における修理・修景



修景前(主屋茅葺屋根修景工事)



修景後(主屋茅葺屋根修景工事)

周辺環境の整備

・平成28年度新規指定件数 歴史的風致形成建造物: 7件, 景観重要建造物: 9件



圓通寺
(景観重要建造物・歴史的風致形成建造物)



大野邸(歴史的風致形成建造物)

防災事業



防火訓練(醍醐寺)



文化財防火サマースクール(清水寺)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財の保存及び活用の普及啓発について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市民参加によって文化財の保存・活用が図られる仕組みづくりを進める。国内外の人々が伝統的な文化芸術を体験することができる機会を拡大する。【頁6-14】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財マネージャー育成講座を実施し、平成28年度に26名の文化財マネージャーを登録。また、文化財マネージャー上級講座を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財マネージャーのスキルアップを図る必要がある。スキルアップの研修や登録後の活動において連携を図ることにより、スキルの向上を目指す。

状況を示す写真や資料等

●文化財マネージャー講座

- ・文化財マネージャー育成講座の開催:全14回
- 平成28年1月～7月 育成講座受講生:36名
- 平成29年1月～7月 育成講座受講生:36名

- ・文化財マネージャー上級講座の開催
- 第4期:平成27年9月～28年8月)受講生:6名
- 第5期:平成28年9月～29年8月)受講生:2名



- ・文化財マネージャースキルアップ講座の開催
- 開催日:平成28年10月30日(日)
- 参加者:19名 /会場:旧池田家住宅(京都市左京区北白川追分町)



文化財マネージャースキルアップ講座

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	平成28年度
	年月日	
仁和公園閉鎖埋まらぬ溝 代替案 住民・安全面に不安	平成28年4月1日	読売新聞
世界遺産仁和寺・緩衝地帯の住民ら 保全へまちづくり協発足	平成28年4月9日	京都新聞
周辺住民ら調停申請 二条城駐車場建設 府公害審査会に	平成28年4月15日	毎日新聞
「市民の森」構想市民団体が提案書 下鴨神社マンション問題	平成28年4月29日	京都新聞, 毎日新聞
仁和公園 撤去始まる 京都市, 事実上閉鎖	平成28年5月7日	京都新聞
京都市, 景観保全へ方針 議会「下鴨神社問題に矛盾」	平成28年5月13日	毎日新聞
京町家流通促し次世代に「新条例制定へシンポ」	平成28年6月5日	京都新聞
下鴨神社マンション計画 反対派と企業側応酬 市審査会の公開口頭審査	平成28年6月11日	京都新聞, 毎日新聞
「倉庫建築確認は違法」下鴨神社計画 取り消し求め住民提訴	平成28年6月18日	京都新聞, 毎日新聞他3社
下鴨神社 倉庫計画縮小 建設は継続「住民理解求めたい」	平成28年7月27日	毎日新聞, 京都新聞他2社
岡崎プロムナード初開催	平成28年8月5日	京都新聞
岡崎に浮かぶ“天の川”	平成28年8月12日	京都新聞
求む市民目線の「視点場」	平成28年8月23日	京都新聞
歴史的景観保全市民意見を募集	平成28年8月23日	毎日新聞
京都市の寺社周辺 景観規制強化検討 市民会議で議論活発	平成28年8月29日	京都新聞
空き寺増加に市民驚く 寺社存在の意義議論を 京都市景観市民会議	平成28年8月31日	中外日報
洛中洛外	平成28年9月8日	京都新聞
「京まふ」に長蛇の列, 学生ら企画 着物のショー 平安神宮で今夜	平成28年9月18日	朝日新聞
ずーと見ていたい	平成28年9月18日	読売新聞
闇夜の極彩色 妖しく魅了	平成28年9月18日	京都新聞
マンション計画の取り消し求め提訴 下鴨神社周辺住民ら	平成28年9月21日	朝日新聞, 産経新聞他3社
京都市の景観保全充実へ 寺社にヒアリング調査	平成28年9月28日	中外日報
(歴史的景観保全の取組, 最近の問題として下鴨神社の事例について)	平成28年10月14日	毎日放送VOICE
地域ぐるみの耐震化の取り組み	平成28年10月20日 平成28年11月25日	NHKニュース
下鴨神社と二条城保全署名を提出へ 市民団体, ユネスコに	平成28年11月18日	京都新聞, 毎日新聞他1社
歴史的景観の保全に関する取組方針について	平成28年11月24日	NHK
京都)竹林輝く初冬の嵐山 花灯路あす開幕	平成28年12月8日	朝日新聞
京都・嵐山花灯路 光渡る冬	平成28年12月10日	毎日新聞
京都・嵐山花灯路, 3カ国語で案内 京産大生がマップ翻訳	平成28年12月12日	京都新聞
寺社など歴史的資産敷地, 周辺 景観保全へ事前協議 京都市 業者に義務化	平成28年12月21日	京都新聞
屋外広告への補助 急増	平成28年12月31日	京都新聞
寺社景観守る建設前協議 京都市 義務化目指す	平成29年1月13日	読売新聞
早春の古都、しっとり照らす 京都・東山花灯路、3日から	平成29年3月1日	京都新聞
なりきりキャップいかが 京都、花灯路をあんどん気分で	平成29年3月8日	京都新聞
「清水焼や西陣織 逸品ずらり 京都駅ビル 京の伝統工芸品展示	平成29年3月22日	京都新聞
重要寺社など周囲の建築, 協議義務化へ	平成29年3月25日	京都新聞, yahoo news
京日記	平成29年3月26日	京都新聞
27寺社周囲の協議義務化へ	平成29年4月13日	NHK
「京都遺産」3件市が認定	平成29年4月15日	読売新聞, 京都新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
京都市の歴史まちづくりに関する取組を報道機関に取り上げられることにより, 市民への普及啓発となった。		

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし</p>	<p>報道に取り上げられた取組は、その意見を踏まえながら各施策に活かせるよう見当を行う必要がある。</p>

状況を示す写真や資料等

●屋外広告への補助 急増(平成28年12月31日/京都新聞)



●寺社周辺など27カ所で景観協議(平成29年4月13日/京都新聞)



●地域ぐるみの耐震化取り組み(平成28年10月20日他/NHK)

本市の事業(まちの匠の知恵を活かした耐震リフォーム支援事業)を利用した耐震改修現場の見学会の様子が放映された。また、修徳学区で実施した、地域ぐるみで耐震診断の呼び掛けを行う取組の様子も、NHKで放映された。



京町家の耐震改修現場見学会の様子



地域ぐるみで耐震診断の呼び掛けを行う様子

●「京都遺産」3件答申(平成29年3月27日/京都新聞)

初の「京都遺産」に庭園文化など3件 市審査会答申

京都市内にある有形・無形の文化遺産を集合体として認定する「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」(京都遺産)制度で、有識者でつくる市の審査会は27日、初認定の3件に「北野・西陣の伝統文化」「千原の都で育まれた庭園文化」「火の信仰と祭りを讃ぐ、門川大作市長に答申した。

市独自の制度で、歴史文化的な連なりや物語性、地域の特長に光を当てて新たな観光の切り口を示し、市民の文化遺産保護の機運を高める狙い。維持管理への補助金はない。公募した意見に基づく候補113件から選んだ。

北野・西陣の伝統文化は学問の神髄で知られる北野天満宮(上京区)、西陣織を伝えてきた西陣一帯の文化や祭り、建物、食文化などを対象とする。天満宮の門前茶屋を起源とし、西陣繁栄とともに発展した花街・上七軒との関係性も評価した。

庭園文化は貴族、武家、禅僧、町衆らが手掛けた中世から近代にかけての多様な庭園群に焦点を当てる。構成遺産には、嵯峨天皇の離宮に築造された庭園にある大穴池(右京区)、神の世界観を現す龍安寺方丈庭園(同)、山奥有朋が構想し、近代庭園の先駆けとされる黒都庵庭園(左京区)などがある。

火の信仰と祭りは、火伏せの神をまつる愛宕神社(右京区)の信仰に加え、お盆に迎えた祖先の霊を送る五山の送り火、年越しの風物詩「おけら詣(まいり)」など世代を超えて受け継がれる伝統行事を幅広く含める。

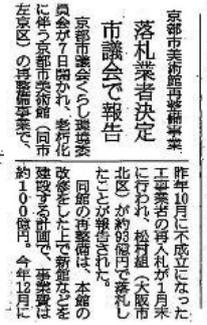
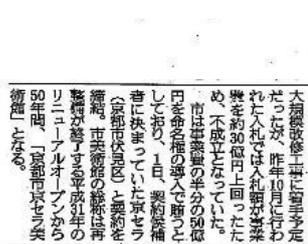
答申は、審査委員長の高橋康夫京都大名誉教授が黒都庵庭園で提出した。門川市長は「次世代に遺産を継承し、観光に役立てられるよう活用したい」と話した。市は、ホームページなどで構成遺産を紹介し、文化遺産の維持活用を考えるワークショップも予定する。新年度も2件程度を認定する。

【2017年03月27日 23時00分】



初めて認定する「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」で答申を門川市長(右から4人目)に手渡す審査会の委員ら。京都市左京区・黒都庵

●京都市美術館再整備落札業者決定(平成29年2月8日/産経新聞)



●岡崎プロムナード初開催(平成28年8月5日/京都新聞)



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成27年度

項目

景観重要建造物・歴史的風致形成建造物の指定

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物や景観重要建造物の指定を推進し歴史的建造物の保全・整備を推進。【頁8-1】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・歴史的風致形成建造物、景観重要建造物の新規指定。
 歴史的風致形成建造物新規指定：7件(内、景観重要建造物との重ね指定4件)、総数84件
 景観重要建造物新規指定：9件(内、歴史的風致形成建造物との重ね指定4件)、総数96件
 ・平成26年度から寺社や近代建築物等を指定の対象に拡充しており、平成28年度は1件の寺院を歴史的風致形成建造物、景観重要建造物に指定、1件の近代建築物を歴史的風致形成建造物に指定を行った。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史遺産及びその周辺にある歴史的建造物を面又は点で指定し保全する取組により、地域の歴史的な様式の保全や、市街地景観の整備に繋がり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

現存する京町家等の歴史的建造物の中でも、特に良好な物件を景観重要建造物・歴史的風致形成建造物として指定し、保存していくことを目的としているが、今日でも良好な歴史的建造物が解体され、建替えられているのが現状である。このため、京町家を解体する際、事前に届出を義務付ける条例の制定を検討しており、解体の危機を事前に把握し、保全・継承に向けた働きかけを行っていく。

状況を示す写真や資料等

河井寛次郎記念館 東山区 (景観重要建造物・歴史的風致形成建造物)		寺田邸 上京区 (景観重要建造物・歴史的風致形成建造物)		智慧夢工房 二九南区 (景観重要建造物)	
神光院 北区 (景観重要建造物)		速水邸 中京区 (景観重要建造物・歴史的風致形成建造物)		山田邸 伏見区 (景観重要建造物)	
山中油店 米蔵他 上京区 (歴史的風致形成建造物)		熊野神社 左京区 (景観重要建造物・歴史的風致形成建造物)		中村軒 西京区 (景観重要建造物)	
吉村家(松雲荘) 左京区 (景観重要建造物)		山下邸 上京区 (歴史的風致形成建造物)		京都市庁舎 中京区 (歴史的風致形成建造物)	

歴史的風致形成建造物・景観重要建造物 平成28年度指定一覧

項目

歴史的風土特別保存地区内の土地買入事業
歴史的風土特別保存地区内の施設整備事業
歴史的風土特別保存地区内買入地の維持管理

計画に記載している内容
 ・「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法」第11条に基づき、歴史的風土特別保存地区内の現状変更不許可となった土地の所有者から買入れ申出を受けた場合、歴史的風土の保存上必要があるものに対して買入を実施。
 ・歴史的風土特別保存地区内において歴史的風土の保存に関連して必要とされる施設の整備。
 ・古都法第12条に基づき、買入地の歴史的風土を維持保存するため、適正に管理する。
 【頁7-51】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【土地買入事業】

約0.05haの買入れを実施。(歴史的風土特別保存地区指定面積は約2,861ha, 昭和42年度からの買入地の総計は平成28年度末で約285.7ha(指定面積の約10.0%))

【施設整備事業】

小倉山地区内において森林整備を実施(1.5ha)。

【維持管理事業】

・買入地において樹木の剪定, 除草, 立入防止柵の修繕, 清掃等を実施。
 ・病害虫による被害木の伐倒駆除等(平成28年度末実績: 松くい虫被害木駆除 349本, カシノナガキクイムシ治療・脱出防止・未然防止対策・伐倒駆除 46本)や被害の早期発見のための空中監視を実施。
 ・京都市公有財産規則第18条に基づく「使用許可」や, 無償管理委託及び協定等の契約により植生等管理や施設管理を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づく森林整備を推進していくために, 小倉山及び上賀茂本山における森林再生等の取組等をおして活動に関わる組織づくりや活動を支える人材育成のあり方などを検証・構築し, 森林景観づくりの輪を三山全体に広げ, 全市的な森林景観づくりの機運を高めていく。

状況を示す写真や資料等



小倉山地区における森林整備(施設整備事業)



嵯峨野地区における樹木剪定(買入地維持管理)

近畿地区の認定都市等の連携について

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

近畿歴史まちづくりサミットについて紹介。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○近畿歴史まちづくりサミットの開催

近畿地方の歴史的風致維持向上計画の認定都市、歴史まちづくりに熱心に取り組んでいる都市の関係者が一堂に会し、各都市における歴史まちづくりに関するこれまでの取り組みや成果、今後の展望などについて発表し、歴史文化資産の宝庫である近畿地方において歴史まちづくりの機運を高めるとともに、観光振興など歴史まちづくりに関する取り組みをより一層強化するため開催した。平成27年度は京都市において11月に開催され、平成28年度は奈良県斑鳩町にて、2回目の開催となった。

○サミット概要

- ・日時
平成29年2月18日
午後1時30分～午後3時30分(開場午後1時)
- ・場所
法隆寺聖徳会館(奈良県斑鳩町)
- ・出席者
ア 市町村
斑鳩町長, 彦根市長, 奈良市副市長, 京都市副市長
イ 国土交通省
近畿地方整備局長
- ・プログラム
① 開会挨拶 近畿地方整備局長
② 来賓挨拶
③ 報告「斑鳩町の歴史まちづくりに関する取り組みについて」
斑鳩町長
④ パネルディスカッション
「歴史文化資産を活かした今後の歴史まちづくり」
⑤ 能楽発表
⑥ 来年のサミット開催都市の挨拶
- ・来場者数
300名



京都市副市長発表内容

○効果

近畿全体で歴史まちづくりの機運を高める場となった。